

## 「第3次八尾市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（素案）」に対する市民意見提出制度（パブリックコメント）の 実施結果と市の考え方について

「第3次八尾市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を策定するにあたり、八尾市市民参画と協働のまちづくり基本条例第12条の規定に基づき、素案を公表し、市民意見提出制度（パブリックコメント）を実施しましたので、その結果と提出された市民意見に対する市の考え方を公表します。

ご提出いただいたご意見等は、趣旨を損なわない程度で要約しております。

### 1. 意見募集期間

令和5年1月4日（水）～令和5年2月3日（金）

### 2. 提出方法別の提出人数及び意見件数

提出方法	提出人数（人）	意見件数（件）
直接持参	0	0
電子メール	6	14
F A X	0	0
郵便	0	0
電子申請	1	1
合計	7	15

### 3. 意見概要と市の考え方

番号	掲載ページ	項目	意見の要約	市の考え方
1	P2	2 地球温暖化対策の動向 (1) 国際的な動向	<p>地球温暖化対策の国際的な動向において、持続可能な開発目標（SDGs）が掲載されており、SDGsにおける日本の主要な課題に環境課題が多く山積していることが分かります。その旨の明記があれば、地球温暖化対策を日本が、ひいては八尾市が取り組む必要性について伝わりやすいのではないかと思います。また、その主要な課題の中に目標5のジェンダー平等も含まれていることに着目すると、計画の立案と実行において、ジェンダー平等を意識した文言や合理的配慮をどう意識していくかの明記などが必要であると思います。加えて、国連で並行して議論されてきたESDにも着目し、計画の中での位置付けをめざすべきと感じます。なぜなら、ESDは、Sustainable（持続可能）とDevelopment（開発）という、交わり難い二つの概念を、Education for（教育という営み）によって解決していこうという重要なキーワードであると思うからです。そのため、ESDを重視するとともに、第3章の2030年に向けた豊かな取り組みの中で、ファシリテーターや社会教育士等の地域づくりの専門職を登用・配置することの検討等も必要ではないかと感じました。</p> <p>計画において、①SDGsの達成における日本の状況の明記、②ジェンダー平等や障がいのある方への合理的配慮の必要性、③ESD概念への着目と協働の学びの必要性、④地域づくりの専門職についての重要性について検討して頂ければ幸いです。</p>	<p>「①SDGsの達成における日本の状況の明記」につきましては、国が第5次環境基本計画を策定するうえで、SDGsを重要な考え方として位置付けていることを本計画の3ページに記載しております。また、本計画が、国の地球温暖化対策計画との整合・連携を図りながら策定していることについて11ページに記載しております。</p> <p>「②ジェンダー平等や障がいのある方への合理的配慮の必要性」につきましては、本市のすべての計画に共通する考え方として、最上位計画である第6次総合計画にて、「性別にかかわらずすべての人がともに活躍できる環境づくり」や「合理的配慮の促進」について記載されており、本計画に係る地球温暖化対策においても、第6次総合計画に記載の考え方を意識してまいります。</p> <p>「③ESD概念への着目と協働の学びの必要性」及び「④地域づくりの専門職についての重要性」につきましては、本計画の基本施策を推進する中で、取組について検討してまいります。</p>

2	P7 54	<p>3 八尾市における温室効果ガス排出の現状</p> <p>(1)現在の温室効果ガス排出状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本施策4 循環型社会の形成</li> </ul>	<p>7 ページに「廃棄物部門では、前年度比約 1.9%減少しておりますが、近年はほぼ横ばいで推移しています」とありますが、この要因があれば知りたいです。また、廃棄に占める家庭ごみの割合は大きいかと思うのですが、54 ページからの 2030 年に向けた取組について、市民の取組で提示されていることが少ない様に感じます。食品ロスや廃棄物の削減について市民が取り組めるような提案がほしいです。</p>	<p>廃棄物部門における二酸化炭素排出量の算定につきましては、環境省の温室効果ガス総排出量算定方法ガイドラインにより示されており、廃棄物の焼却に伴う二酸化炭素は、化石燃料に由来するもののみが算定対象となり、焼却される一般廃棄物に含まれる化石燃料由来の廃プラスチック類などの焼却量に限定されます。なお、食物くずや紙くず等のバイオマス起源の廃棄物の焼却に伴う二酸化炭素の排出については、植物により大気中から吸収された二酸化炭素が再び大気中に排出されるものとして、排出量に含めないこととされております。このように、廃棄物の二酸化炭素排出量については、回収した廃棄物（資源ごみを除く）中に含まれるプラスチック量から算出しており、廃棄物に係る当該プラスチック量がほぼ横ばいであったことに伴い、二酸化炭素排出量も近年はほぼ横ばいで推移しています。また、食品ロスや廃棄物の削減に係る取組につきましては、本計画の上位計画である八尾市環境総合計画の基本方針「資源が循環する豊かなまち」の「ごみの減量・再使用の推進」の取組内容を踏まえつつ、本計画の取組の充実に努めてまいります。</p>
---	----------	--	--	---

3	P16	<p>1 対策推進にあたっての基本的な考え方</p> <p>(2) 八尾市の将来像</p>	<p>16 ページで「ゼロウェイストスーパー」について記載されましたが、どの様に普及させていくのか知りたいです。また、八尾の特産品だけではなく、八尾産の農作物が市民に届きやすい環境が整えられてほしいです。</p> <p>具体的な取り組みやキーワードについての説明が分かりやすく記載されており、今後の生活の選択に役立つものばかりでした。より良い計画になることを願っています。</p>	<p>ゼロウェイストスーパーの普及にあたっては、市民の食品ロス等に関する意識の高まりと行動変容が重要となることから、啓発活動や情報発信を強化してまいります。また、配送ルート of 走行距離を短縮し、配送エネルギーの削減に資するよう、市内で作られた農作物等の認知度向上及び利用促進に向けた周知・啓発を行い、地産地消を促進してまいります。</p>
4	P21	<p>2 温暖化対策の削減目標</p> <p>(3) 温室効果ガスの削減目標</p>	<p>計画では、市域の温室効果ガス排出量を令和 12 年度までに、国のより高い目標値である 50%削減をめざすとしていますが、達成可能なのでしょうか。また 50%削減の達成に向けて、市としての具体的な施策はあるのでしょうか。また、それをどのように発信するのでしょうか。</p> <p>地球温暖化対策は行政だけでなく、市民も取り組まなければならない喫緊の課題であると認識しておりますが、個人レベルではやりつくしているように感じます。市民のみならず、国民全員が地球温暖化対策に意識を持って取り組める、八尾市ならではの施策を期待しています。</p>	<p>本計画の目標達成にあたっては、市民・事業者・行政等のあらゆる主体が、それぞれの立場から、積極的に温暖化対策に取り組む必要があると認識しております。本市といたしましては、市民、事業者等が脱炭素化に取り組みやすい環境整備に向け、啓発や支援に関する情報発信や相談体制づくりをはじめ、再エネの利用促進や省エネ設備に関する補助制度の検討等を行うとともに、ゼロカーボンシティやお推進協議会の会員と連携した取組を充実させてまいります。</p>

5	P24	2 温暖化対策の削減目標 (3) 温室効果ガスの削減目標	当計画の目標達成には、実効的な計画が必要と考えます。市民・事業者が再生可能エネルギーや高効率機器を導入するには、補助金等による支援や、創エネ・省エネの必要性を訴求する啓発等が必要であると考えています。家庭部門では太陽光パネル等の再生可能エネルギーに資する設備等への市独自の補助制度が効果的であると考えています。また、設備設置後の対象者へのエコポイントの付与等、継続的な補助の仕組みも、市民の設置意欲をあげる手法となると考えています。さらに、運輸部門における電動車、急速充電設備及び普通充電設備の設置箇所・基数について、電動車等の購入時の補助制度や、充電設備の普及促進に係る設置事業者への支援策が必要であると考えています。	部門別取組指標の目標達成にあたっては、再エネ設備、高効率給湯器、電動車及び充電設備等に関して、本市での補助制度の検討を進めるとともに、国及び府が実施する補助制度等の情報提供を行うことで普及促進に努めます。また、再エネや省エネに関する意識の向上や行動変容につながるよう、脱炭素化の必要性について情報発信を強化してまいります。
6	P24	2 温暖化対策の削減目標 (3) 温室効果ガスの削減目標	計画に記載されている高効率給湯器とは、台数から判断して家庭用燃料電池を指していると思われます。「家庭用燃料電池の設置台数」と明確に記載されてはいかがでしょうか。	ご指摘のとおり、部門別取組指標における高効率給湯器の設置台数につきましては、家庭用燃料電池の設置台数を計上することとしておりますが、脱炭素化に係る取組としては、燃料電池を含めた高効率給湯器全体の普及が必要であるため、現在の記載となっております。

7	P28	基本施策 1 再生可能エネルギー（電気・熱）利用の促進	再生可能エネルギーで発電した電気の二酸化炭素排出係数はゼロですので、「再生可能エネルギーで発電している電力への切替え」と記載されてはいかがでしょうか。	ご意見を踏まえ、以下のとおり改めます。  【旧】 再生可能エネルギーで発電している排出係数の小さい電力への切替え  【新】 再生可能エネルギーで発電している電力への切替え
8	P29	基本施策 1 再生可能エネルギー（電気・熱）利用の促進	最新のエネルギー分野の技術開発状況を市民の方に知っていただくことは重要だと思います。国の「第6次エネルギー基本計画」の2050年カーボンニュートラル実現に向けた課題と対応で示された合成メタンを合成する技術「メタネーション」について、コラムで紹介されてはいかがでしょうか。メタネーション技術の確立により、既存のインフラや設備を利用可能な合成メタンが天然ガスを代替できるようになることを市民、事業者の方に知っていただく絶好の機会であると考えます。	温暖化対策に関するすべての技術開発を本計画上で記載することは困難であることから、ご指摘のような有効性の高い技術開発につきましては、ゼロカーボンシティやおのポータルサイト等で情報発信に努めてまいります。
9	P33	基本施策 2 市民・事業者の削減活動の促進	高効率機器の導入においては、潜熱回収型給湯器等への買替えも低炭素化に寄与しますので、次のように記載されてはいかがでしょうか。 ・電化製品購入時は、エネルギー利用効率の高いエアコン、冷蔵庫、LED照明等を選択する。 ・給湯器の買替え時は、潜熱回収型給湯器やCO2冷媒ヒートポンプ給湯器を選択する。	ご指摘のとおり、高効率機器の導入にあたり、潜熱回収型給湯器等への買替えも効果があるものと認識しておりますが、本計画上では、エネルギー利用効率が高い機器の選択に関し、より簡潔に表現するため、現在の記載としております。

10	P34	基本施策2 市民・事業者の削減活動の促進	<p>2021年10月22日に閣議決定された「地球温暖化対策計画(環境省)」において、産業部門(製造事業者等)の取組のひとつとして、『電化・燃料転換』が挙げられています。当計画案14ページの「八尾市の地域特性」に記載の通り、八尾市は「ものづくりのまち」として府内有数の工場集積地であり、工場から排出される温室効果ガスの削減は大きな課題と考えます。そこで、次の通り燃料転換について記載されてはいかがでしょうか。</p> <p>・『・・・製造プロセス等の効率化を図る。また、ボイラーや工業炉などにおいては、設備の効率的運用に加え、都市ガスに燃料転換して省CO<sub>2</sub>に取り組む。』</p>	<p>ご意見を踏まえ、以下のとおり改めます。</p> <p><b>【旧】</b> 事業活動全体の環境負荷の低減のため、製造プロセス等の効率化を図る。</p> <p><b>【新】</b> 事業活動全体の環境負荷の低減のため、製造プロセス等の効率化を図りつつ、使用エネルギーの電化・燃料転換に取り組む。</p>
11	P47	基本施策2 市民・事業者の削減活動の促進	<p>カーボンフットプリントのシステムはとても良いと思うが、買い物時に目を向けるのは意識の高い人たちだけではないだろうかと少し疑問点が頭をよぎる。買い物するうえで大切なのは、値段と答える人が大半であり、どうやって無関心な人の心に訴えかけられるかが肝となっていくと考えます。また、ラナ・プラザ崩落事故のように命を懸けて毎日働いている人がいますが、私たちの中にはその商品が出来るまでの経路をあまりよく考えずに購入している人が多いと思います。</p>	<p>本計画の目標達成には、市民や事業者、行政等のあらゆる主体が二酸化炭素排出抑制等に対する意識の高揚を図っていく必要があります。カーボンフットプリントやエシカル消費等につきましては、今後も引き続き、啓発等に努めてまいります。</p>
12	P51	基本施策3 地域環境の整備	<p>51ページの里山保全活動の目標が他の目標と比して、ハードルが低いように感じる。</p>	<p>ご指摘の取組指標につきましては、本計画の上位計画である八尾市環境総合計画の環境指標目標値との整合性を踏まえ、設定いたしました。</p>

13	P52	基本施策3 地域環境の整備	52 ページの SATODUKURI BASE の活動内容について、毎月のマルシェに関しては、マルシェと呼ぶことについて校区まちづくり協議会と調整中と聞いているが、計画にて記載してよいのか。	ご意見を踏まえ、以下のとおり改めます。  【旧】 マルシェなどのイベントも実施しています。  【新】 さまざまなイベントも実施しています。
14	P60	基本施策5 公民連携等による協働での事業展開	60 ページの「サステナやお」について「さそってな」という言葉が関西弁なので、この計画を全国の方々に見てもらうことを考えた場合、意味の説明が必要なのではないか。交流会の写真が会議にしか見えないので、もう少し楽しそうな写真があればよいと感じた。	ご意見を踏まえ、以下のとおり改めます。  【旧】 「サステナブル（持続的）」と「さそってな」という2つの意味が込められています。  【新】 「サステナブル（持続的）」と「さそってな（誘う）」という2つの意味が込められています。
15	計画素案全般		IPCC や SDG s、VR、AR 等の表記の説明がないと、馴染みのない人には何を指しているかわからない。	計画本編で注釈がない専門的な用語につきましては、別途資料編の用語集で記載いたします。